

審査票

申請者氏名		受験番号		奨学金	* 1.貸与中 2.申請予定 3.無し	1.日本学生支援機構(第一種・第二種・併用・給付)(月額 88千円)		奨学金年額					
富山 健太		123456				2.自治体奨学金(名称:) (月額 千円)		1,056 千円					
		氏 名	年齢	職業	現職の就職年月		給与等	年金等	給与等以外の収入	臨時収入	給与等計(控除額)	所得金額	
本人		富山 健太	22	学生	—		—	—	—	—	—	—	
就学者を除く家族	父	富山 太郎	54	会社員	昭 [○] 平 令元年 4 月～		千円	千円	千円	千円	(千円)	千円	
	母	富山 花子	50	パート	昭 [○] 平 令15年 5 月～		千円					千円	
	祖母	富山 すず	75	無職	昭・平・令 年 月～		千円					千円	
	兄	富山 健人	26	会社員	昭・平 [○] 令31年 4 月～		千円	千円	千円	千円	(千円)	千円	
					昭・平 年 月～		千円	千円	千円	千円	(千円)	千円	
					昭・平 年 月～		千円	千円	千円	千円	(千円)	千円	
	児童手当	受給の有無		続柄	氏 名		無職になった年月		失業給付		所得金額合計 (a)		
		* 有・無			年 月～		* 有 ・ 無		千円				
		受給額(年額)			退職金						その他収入合計 (b)		
	千円		* 無 ・ 有 (千円) (年 月 日支払)						千円				
就学者	続柄	氏 名	年齢	在学学校					通学区分	特別控除額			
	妹	富山 ありす	20	* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専		学校名		2 年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円			
	弟	富山 健	17	* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専		学校名		2 年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円			
				* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専		学校名		年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円			
				* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専		学校名		年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円			
区 分			内 容							審査欄	特別控除額		
(* 母子・父子) 世帯			* 1. 母 2. 父	* 死別・生別 (年 月)	児童扶養手当		* 無 ・ 有 (年額 千円)		該当 非該当	千円			
			遺族年金		* 無 ・ 有 (年額 千円)								
障害者 (* [○] 有・無)			続柄(祖母)	* [○] 身体	知的 ・ 精神	障害年金	* 無 [○] 有	年額 600千円)	該当 非該当	千円			
			続柄()	* 身体	知的 ・ 精神	障害年金	* 無 ・ 有 (年額 千円)						
長期療養者 (* [○] 有・無)			続柄 ()	療養期間			医療費 (年額)		該当 非該当	千円			
				年 月 日から現在まで (カ月間)	千円								
風水害等の災害を受けた世帯			被災年月日		被災内容			被害額		該当 非該当	千円		
			年 月 日					千円					
※色付き太枠内の空欄及び、() について、該当する箇所を全て記入してください。 ※ * 印の欄は、該当するものを○で囲んでください。										本人控除	千円		
										父母以外所得控除	千円		
総所得金額 (A) a+b				千円				特別控除額 合計(B)		千円			
認定所得金額				千円				世帯人数 ____ 人 収入基準額		全額 千円 半額 千円			
学力		1 成績 () 2 順位 (/)		免除の可否		1. 該当 (全額免除 ・ 半額免除) 2. 非該当 (学力・家計・両方)							

※色付き太枠内の空欄及び、() について、該当する箇所を全て記入してください。

※ * 印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

担当者チェック欄		
----------	--	--

総所得金額 (A) a+b	千円	特別控除額 合計(B)	千円
認定所得金額	千円	世帯人数 ____ 人 収入基準額	全額 千円 半額 千円
学力	1 成績 () 2 順位 (/)	免除の可否	1. 該当 (全額免除 ・ 半額免除) 2. 非該当 (学力・家計・両方)

記入例

○記入方法（注意事項）

※色付き太枠内の空欄及び、() について、該当する箇所を全て記入してください。
※ * 印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

1 【就学者を除く家族】について

①同一生計の家族（就学者を除く）を漏れなく記入してください。生計は一であるが別居（単身赴任、施設入所等）している家族も記入してください。

②「職業」欄は、必ず記入してください。
(例：会社員、自営業、教員、公務員、パート、アルバイト、主婦、無職 等)

③収入（給与等、年金、臨時収入）がある場合は、その職種に応じた各証明書（別紙参照）を添付してください。
（金額欄への記入の必要はありません）。

④前年中（令和7年1月1日～現在）に失職等した場合は、必要事項を記入してください。
(失職した年月、退職金の有無など)
また、各証明書（別紙参照）を添付してください。

2 【特別控除】について

①各区分について、該当の有無を記入してください。

②該当する場合、右欄「内容」について記入してください。
(ア) 母子・父子世帯：母子・父子世帯の控除は、以下の世帯構成の場合に適用します。
また、手当や年金等の有無も記入してください。
Ⓐ 母又は父と18歳未満の子の世帯
Ⓑ 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
Ⓒ 18歳未満の子の世帯
Ⓓ 祖父母と18歳未満の子の世帯
Ⓔ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
Ⓕ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
※18歳以上の就学者（本人を含む）及び長期に療養を要する経済力のない人は、18歳未満の子として扱ってください。

(イ) 障害者：身体障害者の場合、等級が1級又は2級の者
知的障害者の場合、障害の程度が重度(A)の者
精神障害者の場合、等級が1級の者

(ウ) 長期療養者：「申込時現在において6か月以上にわたる期間、療養中の人または療養を必要と認められる人」に適用します。療養を終えた人は対象となりません。
診療・治療費、入院費用、医薬品費、介護保険法により要介護認定・要支援認定を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額を計算して記入してください。

(エ) 風水害等の災害の被害額：最低限度の医療、家具の購入費、修理費等を記入してください。
※内容が分かる領収書等を添付してください。
※被害額や復旧費をそのまま控除するものではありません。

※ 別紙「入学料等免除等申請書に添付する証明書等」をよく読み、添付書類に不足等がないよう
十分注意してください。